

エコアクション21

環境経営レポート

運用期間： 2024年度 『2024年4月～2025年3月』



作成日: 2025年04月23日



株式
会社

高野商店



目 次

① 組織の概要	・・・2
② 環境経営方針	・・・3
③ ea21実施体制	・・・4
④ 役割と責任及び権限	・・・5
⑤ 環境負荷の実績推移	・・・6
⑥ 環境経営目標	・・・7
⑦ 環境経営活動計画	・・・8
⑦-1 環境経営活動計画	・・・9
⑧ 環境経営目標の実績、評価と今後の取組内容	・・・10
⑨ 環境法規制登録表	・・・11
⑩ ハザード関連レポート	・・・12
⑪ 代表者の見直し	・・・13





組織の概要

更新日 2025年04月23日

①名称及び代表者

会社名

株式会社 高野商店

代表者

代表取締役社長 高野 諭輝

②所在地

- 本社・中津営業所 (認証登録対象) 〒871-0007 大分県中津市大字蛸瀬816-11
tel 0979-22-3051 fax: 0979-24-5092
- 大分営業所 (認証登録対象) 〒870-0904 大分県大分市向原東1-7-23
tel 097-558-9801 fax: 097-558-7177
- 延岡営業所 (認証登録対象) 〒882-0856 宮崎県延岡市出北6-2321
tel 0982-33-1228 fax: 0982-21-0610

③環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者 高野 憲二
tel 0979-22-3051 fax: 0979-24-5092
- 環境担当者 松尾係員

④事業内容

- 主な商品 機械部品の販売
油、空圧機器 伝導機器
電機制御機器 荷役、搬送機器
- 省エネ製品 省エネベルト
エアブローガン省エネタイプ

⑤事業規模 (2024年度)

- 売上高 15億円
- 従業員数 本社 13人
大分営業所 11人
延岡営業所 6人
- 延床面積 本社 1.293m²
大分営業所 556m²
延岡営業所 315m²

⑥会計年度

期首:4月

期末:3月

⑦認証登録範囲

全組織・全事業活動



環境経営方針

環境経営方針

環境保全が事業活動における重要課題の一つであると認識し
機械部品販売の事業活動のなかで、継続的改善を図ります

【行動指針】

1 環境負荷を低減します

- ①省資源活動
- ②省エネルギー活動
- ③廃棄物の削減又は梱包ダンボールのリサイクルに努めます
- ④SDS等により、化学物質を把握し、情報を管理します。
- ⑤グリーン購入に努めます。
- ⑥環境保全商品の情報発信や販売に努めます

2 環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善を図ります

3 環境教育を充実し地球環境の保護に努めます

- ①環境意識の向上を目的に勉強会の実施に努めます

4 事業上、適用される環境法規制を遵守します

5 RoHS指令対応製品販売の取り組み

- ① 製品への有害物質の使用を制限することが地球環境保全観点から企業の社会的責任であると認識しRoHS指令への対応製品の販売に取り組みます。

制定日 2010年10月15日

更新日 2020年4月20日

株式会社 高野 商店

代表取締役社長 高野 諭輝

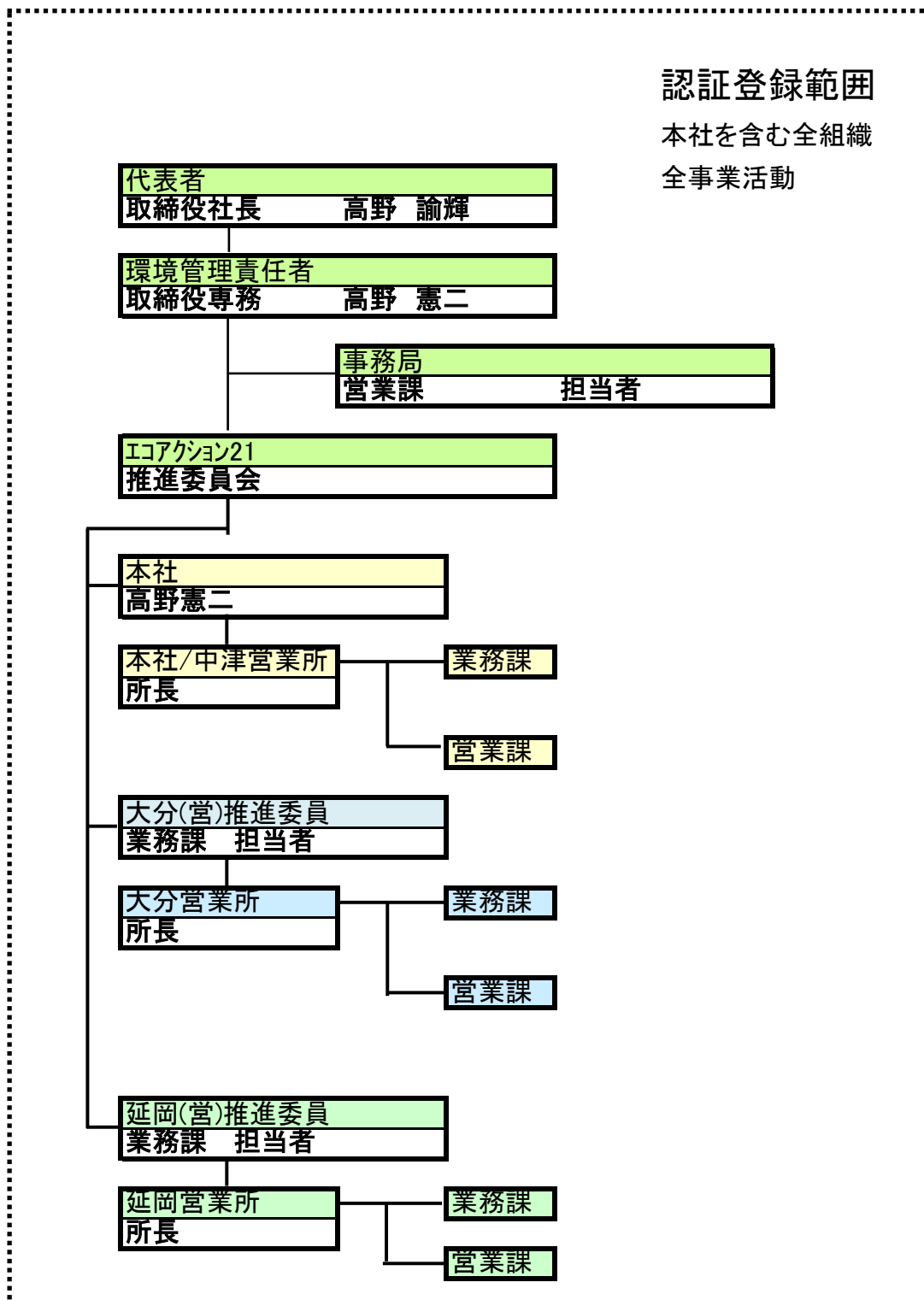


EA21実施体制

更新日 2025年04月20日

2013年4月より全組織による活動を実施しています。

確認及び承認印		
代表者	環境責任者	作成者





役割と責任及び権限

制定日 2010年11月18日

更新日 2020年04月20日

確認及び承認印		
代表者	環境責任者	作成者

役割 権限 責任	
■代表者	- 環境経営に関する統括責任者 - 経営における課題とチャンスを確認にする - 環境経営に必要な経営資源人、物、資金を準備する - 環境管理責任者の任命 - 環境経営方針を定める - 環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する - 全体の評価と見直しを実施する - 環境経営レポートの承認
■環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 - 環境経営システムの、運用、管理状況を代表者に報告する - エコアクション21推進委員会の責任者 - 環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認 - 環境経営レポートの承認確認
■事務局	- 環境管理責任者の任命補佐 - エコアクション21推進委員会の責任者 - 推進委員会事務局 - 環境関連文書、記録の管理 - 環境経営レポートの作成
■エコアクション21推進委員会	- 環境経営目標、環境経営計画の伝達 - 環境活動に関する意見交換
■全従業員	- 環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する - 自主的、積極的に環境活動に参加する



環境負荷の実績推移

2012年度以降

更新日 2025年04月23日

確認及び承認印		
代表者	環境責任者	作成者

基準年の環境負荷実績
弊社の環境負荷の実績は下記に示します。

環境方針の番号	選択課題	注1 2012年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
1	二酸化炭素排出量	83,331	66,452	61,285	63,739	58,600
		Kg-CO2	Kg-CO2	Kg-CO2	Kg-CO2	Kg-CO2
	電力消費量削減	40,113	32,764	30,737	29,510	31,087
		kWh	kWh	kWh	kWh	kWh
	ガソリン消費量削減	29,431	20,881	18,664	18,963	18,079
		リットル	リットル	リットル	リットル	リットル
注3	軽油消費量削減		2,269	2,300	2,253	2,188
						リットル
2	一般廃棄物排出量削減 (分別・再資源化)	2,047	1,792	2,090	2,137	1,829
		kg	kg	kg	kg	kg
	PPC用紙の使用量削減 (ペーパーレス・両面活用)	114,732	155,551	142,621	139,959	141,071
		枚	枚	枚	枚	枚
	産業廃棄物排出量削減 (適法管理・再資源化)	在庫管理徹底	在庫管理徹底	在庫管理徹底	在庫管理徹底	在庫管理徹底
		100%	100%	100%	100%	100%
3	水使用量削減	253	225	259	266	237.5
		m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
4	化学物質の適正管理	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理
		注2	注2	注2	注2	注2
5	グリーン購入の推進	7品目	7品目	7品目	7品目	7品目
		14種類	14種類	14種類	14種類	14種類
6	環境配慮製品の情報発信	HPとDMにて 情報発信 平均3件/年	HPとDMにて 情報発信 平均3件/年	HPとDMにて 情報発信 平均3件/年	HPとDMにて 情報発信 平均3件/年	HPとDMにて情 報発信 平 均3件/年
7	環境教育の推進	2回/年	2回/年	1回/年	1回/年	1回/年

注1 2012年度より中津、大分、延岡営業所のデータを合算しました。

注2 化学物質は在庫せず、SDSをお客様に提供し適正な取扱い指導に努めます

注3 2021年度より大分(営)にて軽油の使用開始

*電力CO2排出係数: 2019年度から新出光『0.4』九州電力の係数『0.347』を採用

*電力係数: 2022年度から中津(本社)は新電力大分の調整後係数『0.460』

大分、延岡(営)は九州電力の調整後係数『0.462』を採用

電力係数: 2024年度から中津(本社)は新電力大分の調整後係数『0.274』

大分、延岡(営)は九州電力の調整後係数『0.406』を採用



環境経営目標

目標期間:2022年4月～2025年3月

更新日 2025年04月23日

確認及び承認印		
代表者	環境責任者	作成者

基準年度*の環境負荷実績と環境目標
弊社の環境負荷の環境目標は下記に示します。

*2015年より基準年度を2013年度の実績値とする(全社合算数値)

環境方針の番号	選択課題	基準年度 2013年度 実績値 全社	2022年度 目標 全社	2023年度 目標 全社	2024年度 目標 全社	2025年度 目標 全社
1	二酸化炭素排出量	88,204	基準年度比	基準年度比	基準年度比	基準年度比
		Kg-CO2	▲9%	▲10%	▲11%	▲12%
	電力消費量削減	41,741	基準年度比	基準年度比	基準年度比	基準年度比
		kWh	▲9%	▲10%	▲11%	▲12%
	ガソリン消費量削減	31,350	基準年度比	基準年度比	基準年度比	基準年度比
		リットル	▲9%	▲10%	▲11%	▲12%
	*軽油消費量削減	2,300		基準年度比	基準年度比	基準年度比
		リットル		▲1%	▲2%	▲3%
2	一般廃棄物排出量削減 (分別・再資源化)	2,018	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底	分別の徹底
		Kg	100%	100%	100%	100%
	*PPC用紙の使用量削減 (ペーパーレス・両面活用)	120,145	削減活動	削減活動	削減活動	139,660
		枚				*前年年度比▲1%
	産業廃棄物排出量削減 (適法管理・再資源化)	***	在庫管理徹底	在庫管理徹底	在庫管理徹底	在庫管理徹底
			100%	100%	100%	100%
3	水使用量削減	277	基準年度比	基準年度比	基準年度比	基準年度比
		m ³	▲5%	▲5.5%	▲6%	▲6.5%
4	化学物質の適正管理	データ無し	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理
		注1	注1	注1	注1	注1
5	グリーン購入の推進	データ無し	エコマーク製品を 優先的に購入	除外	除外	除外
6	環境配慮製品の情報 発信	データ無し	顧客への情報 発信の継続	顧客への情報 発信の継続	顧客への情報 発信の継続	顧客への情報発信 の継続
7	環境教育の推進	データ無し	勉強会を実施 (2回／ 年)	勉強会を実施 (1回／ 年)	勉強会を実施 (1回／年)	勉強会を実施 (1回／ 年)

注1 4) 化学物質は在庫せず、SDSをお客様に提供し適正な取扱い指導に努めます

1) *電力係数:2019年度から新出光調整後係数『0.4』九州電力の調整後係数『0.347』を採用

*電力係数:2022年度から中津(本社)は新電力大分の調整後係数『0.460』

大分、延岡(営)は九州電力の調整後係数『0.462』を採用

電力係数:2024年度から中津(本社)は新電力大分の調整後係数『0.274』

大分、延岡(営)は九州電力の調整後係数『0.406』を採用

*軽油削減(大分(営)のみ)に関しては基準年度を2022年度の実績とします。

*PPC用紙削減に関しては2024年度より削減目標を設定します 2025年度より削減目標の対象を基準年度から前年度に変更し、削減目標枚数を表示する



環境経営活動計画

(2010年度～2022年度)

制定日 2010年11月18日

更新日 2022年04月20日

確認及び承認印		
代表者	環境責任者	作成者

環境方針の番号	目標課題	具体的な行動(活動)	対象部門
1-1	電力消費量削減	1.昼休みの消灯(業務に支障なき事) 2.空調機の適正温度の設定(暖房24度/冷房28度に設定) 3.空調機の定期的な清掃(フィルターの清掃3ヶ月毎) 4.倉庫の照明は使用時のみ点灯	全員 担当係員 担当係員 全員
1-2	ガソリン消費量削減	1.エコドライブの推進 (急発進、停止 アイドリングの排除) 2.タイヤの空気圧の定期的な点検(1回/月 GSにて実施) 3.燃費向上の為 unnecessary 荷物を載せない 4.営業車を1台ハイブリッドに変更する	営業 営業 営業 営業
2-1	一般廃棄物排出量削減	1.分別回収ボックスの設置により、ごみの分別に努める	全員
2-2	PPC用紙の使用量削減	1.文書の電子化によりペーパーレス化に取り組む 2.裏紙使用に努める	全員 全員
2-3	産業廃棄物排出量削減	1.不良在庫を減らすため、在庫管理を徹底する 2.分別回収ボックスの設置により、ごみの分別に努める	営業 全員
3	水使用量削減	1.手洗い時、洗物において、節水に努める 2.社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車の際は節水に努める	全員 営業
4	化学物質の適正管理	1.屋外での除草剤、殺虫剤の使用の削減に努める 2.SDSによる化学物質含有商品の内容把握と情報管理(お客様への情報提供)	全員 営業
5	グリーン購入の推進	2019年04月より除外	
6	環境配慮製品の情報発信	1.省エネ提案機器の積極的な販売に取り組む 2.ユーザー様に環境配慮型商品に関する情報を積極的に提供することに努める 3.RoHS対応製品の確認と販売に努める 4.ホームページ上で省エネ商品、展示会の開催を案内する	営業 営業 営業 営業
7	環境教育	1.環境関連資料を基に勉強会を実施する 2.各営業所にて勉強会を実施する	全員 全員



環境経営活動計画 (2023年度～2024年度)

制定日 2010年11月18日

更新日 2023年04月1日

確認及び承認印		
代表者	環境責任	作成者

環境方針の番号	目標課題	具体的な行動(活動)	対象部門
1-1	電力消費量削減	1.昼休みの消灯(業務に支障なき事) 2.空調機の適正温度の設定(暖房24度/冷房28度に設定) 3.空調機の定期的な清掃(フィルターの清掃3ヶ月毎) 4.倉庫の照明は使用時のみ点灯	全員 担当係員 担当係員 全員
1-2	ガソリン消費量削減	1.エコドライブの推進 (急発進、停止 アイドリングの排除) 2.タイヤの空気圧の定期的な点検(1回/月 GSにて実施) 3.燃費向上の為 unnecessaryな荷物を載せない	営業 営業 営業
*1-3	軽油消費量削減	1.エコドライブの推進 2.燃費向上の為 unnecessaryな荷物を載せない	担当営業 担当営業
2-1	一般廃棄物排出量削減	1.分別回収ボックスの設置により、ごみの分別に努める	全員
2-2	PPC用紙の使用量削減	1.文書の電子化によりペーパーレス化に取り組む 2.裏紙使用に努める	全員 全員
2-3	産業廃棄物排出量削減	1.不良在庫を減らすため、在庫管理を徹底する 2.分別回収ボックスの設置により、ごみの分別に努める	営業 全員
3	水使用量削減	1.手洗い時、洗物において、節水に努める 2.社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車の際は節水に努める	全員 営業
4	化学物質の適正管理	1.屋外での除草剤、殺虫剤の使用の削減に努める 2.SDSによる化学物質含有商品の内容把握と情報管理(お客様への情報提供)	全員 営業
5	グリーン購入の推進	2019年04月より除外	
6	環境配慮製品の情報発信	1.省エネ提案機器の積極的な販売に取り組む 2.ユーザー様に環境配慮型商品に関する情報を積極的に提供することに努める 3.RoHS対応製品の確認と販売に努める 4.ホームページ上で省エネ商品、展示会の開催を案内する	営業 営業 営業 営業
7	環境教育	1.環境関連資料を基に勉強会を実施する 2.各営業所にて勉強会を実施する	全員 全員

*1-3 2023/04/01より軽油消費量削減目標を追加

◆ 環境経営目標の実績、評価と今後の取組内容

期間(2024年4月～2025年3月)

実施日: 2025年4月23日

本社 大分(営) 延岡(営)

2024年度の二酸化炭素総排出量 = 58600.15kg-Co2

確認及び承認印		
代表者	環境責任者	作成者
		

項 目	期間: 2024年4月～2025年3月		達成度	判定	評 価 及 び 今 後 の 取 組 み 内 容
	目標値	実 績			
CO2排出量(kg-CO2)	78,502	58,600	134%	○	CO2、電気、ガソリン、軽油等の全体の削減目標は達成しました。延岡(営)は電気使用量が目標値に対してオーバーし前年に比べても5%増加しています、従業員が1名増えた事が要因と考えますが、節電に心がけ今年度も削減目標に近づけるよう指導しました。
電気使用量(kwh)	37,150	31,087	120%	○	
ガソリン使用量(l)	27,901	18,083	154%	○	
軽油使用量(l)	2,254	2,188	103%	○	
一般廃棄物排出量削減 (分別・再資源化)	分別のルール 策定と実施	分別のルール 策定と実施	100%	○	分別箱や分別カート等を設置して、全社員で分別活動の取り組みを継続した結果、分別意識が高くなったように思われます。
PPC用紙の使用量削減 (ペーパーレス推進、両面利用)	削減活動実施	141,071	100%	○	2024年度は前年比1%増加しました、2025年度よりPPC削減目標を数値化し前年度比に変更し、2025年度は前年度に対して1%削減を目標にしました
産業廃棄物排出量削減 (適法管理・再資源化)	在庫管理ルール 策定と実施	在庫管理ルール 策定と実施	100%	○	2024年度は延岡(営)で産業廃棄物の処理がありました、(有)オイルサイクル様に依頼して廃棄物を適切に処理しました。
水使用量削減(m3)	260	237.5	109%	○	水使用量は本社、大分、延岡(営)は目標達成しました。2023年度大分(営)の水使用料増加に関しては特に無駄使いはみられず、自然増加と結論付け2025年度も引き続き削減に努めます
化学物質の適正管理	化学物質の適正 管理実施	化学物質の適正 管理実施	100%	○	屋外での除草剤、殺虫剤の使用の削減に努めました。今後も継続していきます。また、SDSが必要な商品を購入するときは必ず顧客へ提示していきます。
グリーン購入の推進	除外	除外			2019年4月より必須事項から除外しました。
環境配慮製品の情報発信	情報発信の資料 検討	省エネ製品の情 報発信	100%	○	RoHS対応の配管部品を在庫しているので積極的に販売し、顧客のニーズを調査し積極的に情報を発信することにしました。今後環境配慮商品をHP等で顧客へ情報を発信していきます。
環境教育の推進	2回/年	1回実施	50%	×	3営業所(中津、大分、延岡)にて自然災害ハザード情報レポートの内容確認を実施

環境法規制登録表

作成日:2010年 5月 8日

更新日:2025年 4月23日

確認及び承認印		
代表者	環境責任者	作成者
		

遵守評価日: 2025年 4月 23日

法規制等	適用内容	対象設備、施設	届出	遵守事項（法規制/自主規制）	頻度等	遵守評価	コメント
廃棄物処理法	産業廃棄物の適切な管理	産業廃棄物	—	(法規制) 1.産業廃棄物置場の表示 2.マニフェスト伝票の管理(5年間保管) 3.委託契約書、処理業許可証の管理 4.委託業者への適切な処理の委託 5.管理表交付状況報告書の提出(大分県) 6.分別、清掃の実施、飛散、漏洩の防止	設置時 随時 1回/年 随時 毎年6月末まで 1回/週(確認)	○ ○ ○ ○ ○ ○	
	一般廃棄物の適切な管理	一般廃棄物	—	(法規制) 1.適切な廃棄、適切な業者への依頼 (自主規制) 1.分別、清掃の実施、飛散、漏洩の防止	廃棄時 1回/週(確認)	○ ○	
家電リサイクル法 PCリサイクル法	特定家電、PC類の適切な廃棄	テレビ、 家庭用エアコン パソコン類	—	(法規制) 1.リサイクル料支払い(発生時のみ) 2.廃棄時、適切な業者への依頼	支払い時 廃棄時	○ ○	
自動車リサイクル法	公用車の適切な廃棄	公用車	—	(法規制) 1.リサイクル料支払い(発生時のみ) 2.廃棄時、適切な業者への依頼	支払い時 廃棄時	○ ○	
フロン排出抑制法	大型エアコンの適切な廃棄 (フロン使用)	大型エアコン (フロン使用)	—	(法規制) 1.廃棄時、適切な業者への依頼 2.回収委託書発行、引取証明書受理(3年保管) 3.定期点検の実施	支払い時 廃棄時 4回/年	○ ○ ○	
浄化槽法	法定点検 保守点検、清掃	浄化槽	—	(法規制) 1.指定検査機関による検査 2.定期点検および清掃	毎年 毎年	○ ○	
消防法	事務所、作業所の消防整備	建屋	—	(法規制) 1..消火器の設置 2.非常口の確保 3.火災発生時の安全な避難と119番通報 (自主規制) 1.定期的な火災に関する教育・訓練の実施	随時 随時 火災発生時 1回/年	○ ○ ○ ○	該当なし

評価: 環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟は過去3年間ありません。



BCP ハザード関連レポート

2025年4月23日

確認及び承認印		
代表者	環境責任者	作成者
		

営業所	想定震度	液状化リスク	海拔(m)
中津(営)	震度6弱	やや高い	2.9
大分(営)	震度6強	やや高い	2.4
延岡(営)	震度4	やや高い	2.9

中津(営)

- | | |
|--------------|------------|
| ① 都道府県津波浸水想定 | (浸水深) 想定無し |
| ② 南海トラフ巨大地震 | (浸水深)想定無し |
| ③ 首都直下型地震 | (浸水深)想定無し |

大分(営)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ① 都道府県津波浸水想定 | (浸水深) 3.5-5.0m |
| ② 南海トラフ巨大地震
分) | (浸水深)0.25m(到達時間 109 |
| ③ 首都直下型地震 | (浸水深)想定無し |

延岡(営)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① 都道府県津波浸水想定 | (浸水深) 3.5-5.0m |
| ② 南海トラフ巨大地震
分) | (浸水深)1.87m(到達時間 31 |
| ③ 首都直下型地震 | (浸水深)想定無し |

*急傾斜、地滑り、土石流等の指定なし

代表者による全体の評価と見直し記録

2024年度(対象期間2024年4月～2025年3月)

(実施日:2025年04月23日)

作成	承認
環境管理責任者	代表者
	

1. 全体の評価

No.	評価事項	評価結果(指摘事項)	改善内容	期限	改善責任者
1	環境関連法規等の順守状況	遵守できている。	特に無し		高野憲二
2	環境経営目標の達成度 活動の進捗状況等の確認	全体でのCO2削減の目標は達成できました。 本社中津(営)、大分(営)は全て目標値に対して下回りました、 延岡(営)は電気使用量の削減が未達成で、人員の増加に伴い 昨年比5%増加しています。今後仕事の効率化により削減につな げたいと思います	無駄な電気使用の確認 特に無し エコドライブを意識し、不必要な 荷物を搭載しない。(継続)	随時実施 随時実施	高野憲二 高野憲二
3	環境に関する苦情や要望対応状況	苦情・要望など発生していない。			高野憲二
4	前回の代表者の指示事項への対応	大分(営)の水使用量増加に関しては特に無駄使いはみられ ず、自然増加と結論付けました、延岡(営)の電気使用量に関 しては人員増加があり削減数値は確認出来ませんでした。	大分(営)水使用量増加に関しては 2024年度は減少した為改善は特に 無し。延岡(営)電気使用量増加に関 しては時間外の電気使用の確認		高野憲二
5	その他指示事項	特になし			

2. 見直し事項

No.	環境マネジメントシステムの見直し事項	見直し結果	改善内容	期限	改善責任者
1	環境経営方針、環境経営目標、環境 経営環境活動計画の変更の必要性	環境目標等の主要部分は変更の必要性なしと判断する 延岡(営)に電気少量の削減の為仕事の効率化を図るよう 指導しました。			高野憲二
2	環境経営システムの変更の必要性	特にシステムの変更の必要性無と判断します。			高野憲二
3	実施体制	全体的にCO2の削減ができていますので、特に体制変更 の必要は無しと判断します。			高野憲二

3. 全体評価

全体の環境改善活動目標は達成できました。営業所別では、本社中津(営)、大分(営)両(営)の実績は全て目標値に対して下回ってますが引き続き環境改善活動を継続するよう指導しました、また延岡(営)は電気使用量が前年比5%増加しました、要因として人員増加の影響によるものと思いますが削減量を確認できなかった、2025年度は電気使用量の削減努力を継続するよう指導が必要と考えます。

2025年04月23日 代表取締役 高野 諭輝